



若者が希望を持てる
社会をつくりたい

日本共産党

からさわ地平 の決意

政治は未来を拓くためにこそ！

引き続きコロナ危機に加えて食料品をはじめとした物価高が市民の暮らしを直撃しています。こうした中で岸田政権は物価・経済対策どころか大軍拡・増税に突き進み、希望が持てない政治が続いています。**税金は暮らしを守り、教育・気候危機など未来を拓くために使われるべきではないでしょうか。**



民青が主催するフードバンクで実態を聞き取り

政治が変われば暮らしが変わる！

学生に高い学費を負担させ、大企業いなりで気候危機対策に取り組めない。**若者が希望が持てない未来を変えたい**と思い、私は日本共産党員の道を選びました。

三多摩有数の財政力を持つ府中市が変われば、若者や学生をはじめ、あらゆる人々の暮らしを支える政治が実現できます。暮らしに希望が持てる社会を目指して頑張ります。

日本共産党
の躍進で

府中市から大軍拡・増税ストップ



岸田政権は軍事費を5年間で43兆円に増額することを閣議決定しました。くらしや教育より軍事を最優先する岸田政権止めるために全力をつくします。

おもな活動地域 新町、浅間町、天神町、武蔵台、栄町、晴見町、幸町、府中町、宮西町、緑町、八幡町、宮町、寿町、若松町（2～5丁目）

くらし・いのち・教育をまもる
からさわ地平はがんばります！

都議選の訴えたこと

こんどは市政で

コロナ禍で
いのちまもれ

コロナ禍でもオリンピックを強行し、感染対策や若者への支援を十分におこなわない政治を変えるため 2021 年都議会議員選挙に立候補。**五輪中止、都立病院の独立行政法人化ストップ、府中保健所機能強化、学生支援**などを訴えました。都議選で訴えた公約を市政で実現するため、力を尽くします。



2021 年都議選での街頭演説

府中市から住民のねがいかなう政治を

コロナ禍に併せて物価高が続いています。府中市の財政力をいかせば、**学校給食費の無償化、学生への家賃支援制度**など市民の暮らしを支えるさまざまな支援が実現できます。



北府中駅の歩道橋で要望のききとり

住民のねがいにこたえる政治、学びの支援と気候危機対策を進め、未来に希望が持てる市政をめざしてがんばります。

服部ひとみ前市議からバトンタッチ



学生時代から環境問題にとりくみ、粘り強く府中で活動してきた地平さん。

若者への食糧支援の経験で、市民の声を政治に届ける頼もしい力です。ぜひ市政に押し上げてください。

プロフィール 1989年、長野県坂城町生まれ。東京農工大学卒。学生時代の2010年にメキシコでおこなわれたCOP16にNGO参加。2017年、21年に東京都議会議員選挙に立候補。現在、日本共産党調布粕江府中地区委員会勤務。趣味は野球観戦、ツーリング、エレクトーン演奏。府中市新町在住。

政策は中面で
紹介しています

新しい府中 2023年冬号外
日本共産党府中市委員会の見解を紹介します
発行「新しい府中社」府中市八幡町2-27-28

事務所連絡先
TEL 042-336-9531
Mail chihei39@gmail.com

日本共産党

服部ひとみ前市議
からバトンタッチ

全力投球。
くらしと平和に



軍事ではなく
くらしと教育に
予算を

農工大卒 33 歳
今度は市政に！

府中市議予定候補

党 府中青年学生対策責任者

からさわ 地平

柄澤 ちへい

@chihei39

名前の由来は「地平線」 詳しくは中面で

コロナ禍・物価高がつづく今こそ くらしを守る政治を！

学びへの支援充実
最賃時給1500円に

政治が変われば若者のくらしも変わる！

「学業で忙しくバイトができない。でも物価は上がって食費を削るしかない」「実家の収入が減って進学を断念した」民青同盟がおこなっている大学前フードバンクでは、学生たちからさびしい実態が寄せられました。



民青の仲間と都庁に要請行動

政治が変われば解消できる困難もたくさんあります。若者たちと学び、活動してきた経験を力に、希望が持てる政治を実現できるよう力を尽くす決意です。

からさわ地平さんに期待します！

母校・東京農工
大学の関係者より

真剣に若者の声を聞き解決の展望を伝えてくれる (東京農工大学 2年生 Mさん)

「気候危機」「日本の経済」など民青同盟の学習会でからさわさんに講師をお願いしています。

からさわさんは話を聞くだけでなく、人によって言いにくい事を話しやすいように工夫している方だと感じています。社会問題について話すときは、現状認識だけで終わらず解決する方法を伝えてくれます。様々な声を積極的に聴き、政治に反映しようと努力するからさわさんは、より多くの人を支える市政を実現してくれると思います。



科学的な視点で市政に新しい風を！ (東京農工大学名誉教授 淵野雄二郎)

からさわさんは、在学中から平和問題や環境問題に関心を持ち現地調査を続けてきました。今は焦眉の課題である若者のくらしの支援について、東京都と交渉するなど行動力は抜群です。工学研究で培った知識や経験を活かして、科学的な視点から市政に新しい風を送ってくれることを期待しています。

プロフィール・公約はこちら →



からさわ地平
の生い立ち



家族旅行で行った北海道の地平線

“地平” 名前の由来 地平線のような 広い心を持つように (by 両親)

長野県に生まれた私は何にでも興味を持つ子どもで、中学の頃には消費税や脱ダムなど新聞記事を読んでまわりと話すことを楽しんでいました。まわりから珍しい名前と言われますが、名前に負けず広い心と器をもつよう心がけています。

農工大学生時代に日本共産党に出会い 気候危機打開を中心に活動

大学の先輩から誘われ民青同盟に参加。署名を集め学費値下げを文科省に要請したり、気候危機打開の学習や行動にとりくむ中で日本共産党に出会い、入党しました。

2011年にはNGOの一員としてメキシコで行われたCOP16に参加しました。



メキシコCOP16に参加した仲間と

民青同盟とは？

日本共産党を相談相手とする青年組織。大学・地域に班を作って活動。

日本共産党のスタッフとして 若者と共に政治をかえるため全力！

国際会議で目にした、気候危機に対し後ろ向きな日本政府と財界言いなり政治を変えたいと考え、大学卒業後は日本共産党のスタッフに。

民青同盟で活動する後輩たちの要望に応えた学習会や活動などにとりくんでいます。



民青の仲間と「小田原かなごてファーム」でソーラーシェアリングを学ぶ

特技はエレクトーンの演奏



大学でエレクトーンサークルに所属妹の結婚式で入場曲を演奏しました

とくに、環境問題や気候危機打開については、学生時代の経験も生かして講師やフィールドワーク活動など力を入れてきました。私たちの未来にかかわるこの問題に市政でも力をいれていく決意です。

物価高から市民のくらしをまもる

からさわ地平

三多摩トップの
財政力をいかして

5つの約束

① 学校給食費の無償化

物価高で生活費が上がっている今こそ、子育て家庭への支援を進めます。とくに学校給食無償化は葛飾区や北区でおこなわれる予定で、府中市でも実施をもとめていきます。



② 省エネ・再エネ支援で気候対策

住宅の省エネ化や、再エネ導入を支援し、2030年までに温室効果ガス排出量48%削減を実現します。リフォーム時の断熱化・太陽光発電設置を支援するエコハウス助成を広げます。



③ 一人暮らし学生への家賃支援

物価高で苦難に直面してる学生生活を支援するため、家賃への支援制度創設や、府中市独自の奨学金を充実させます。



④ 施設利用料の値下げ ⑤ 補聴器購入助成

市民の文化・サークル活動を支えるために、公共施設の利用料を引き下げをもとめます。

きこえの心配がなく高齢者が生活できるため、補聴器購入への支援制度をつくります。

1%の予算組み替えで学校給食を無償に

府中市の財政力は多摩地域トップレベル。コロナ禍でも3年間で120億円の予算が使い残りしました。予算を一部組み替えるだけで学校給食の無償化を実現できます。

府中市一般会計予算
歳入1,209億円 (22年度)

学校給食の無償化
年間8.8億円で実現

北府中駅のバリアフリー化 歩道橋にエレベーター設置を

誰もが利用しやすい駅をめざして、バス停近くの歩道橋にエレベーターの設置をもとめます。

跡地利用計画に地域の声を 災害時の拠点としての活用を

医療少年院跡地の防災拠点化や公園の設置など、地元の声を取り入れた跡地利用をすすめます。